

# みどりの風

山口県自然観察指導員協議会 会誌

No.103

2019年 7月 (夏号)



私たちは地球生命体の永遠なるいのちを願って活動しています。

## 今後の会議の予定

第4回役員会 日 時 令和元年9月1日(日) 10時～下松市中央公民館

令和元年度会計監査 令和元年11月4日(月)

令和2年度第1回役員会 令和元年11月10日(日) 10時～下松市中央公民館

※ 令和元年度 中国地区5県交流会 詳細は本号3～4ページを参照

### -mailアドレス連絡のお願い

連絡の迅速化と効率化のためにE-mailを活用したいと思います。  
会長の大田宛に空メールを送ってください。観察会や交流会の申込などに利用したいと思います。

**大田和彦 ota.red@kvision.ne.jp**

表紙の説明

### ヤマトマダラバツタ

海岸性種。ハマヒルガオやコウボウムギなど海浜植物がまばらに生育していて少し開けた砂地がある環境に見つかります。

体色は砂の色にそっくりです。

表紙写真撮影地等：下関市 2018年9月14日

第5支部 松田真紀子

# 講演会のご案内

※ 詳細（問合せ・申込み）は、山口県ひとづくり財団へ

## 夢トークinやまぐちⅡ ～環境学習講演会～

主催：公益財団法人山口県ひとづくり財団

共催：中国地域エネルギーフォーラム

### 環境問題を 科学的に考える

8月20日 火  
13:30～15:00

サイエンス作家

たけうち

かおる

# 竹内 薫氏



- ・1960年 東京都生まれ
- ・東京大学教養学部教養学科、東京大学理学部物理学科卒業  
マギル大学大学院博士課程修了 理学博士
- ・大学院を修了後、サイエンスライターとして活動
- ・物理学の解説書や科学評論を中心に150冊あまりの著作物を  
発行
- ・2006年には「99.9%は仮説～思い込みで判断しないための  
考え方」を出版し、40万部を超えるベストセラーとなる
- ・物理、数学、脳、宇宙など幅広い科学ジャンルで発信  
執筆だけでなく、テレビ、ラジオ、講演など精力的に活動

会場

山口県セミナーパーク 講堂

入場無料

定員

200名 ※要約筆記あり

申込方法

「ホームページ」「郵便ハガキ」「携帯サイト」のいずれかの方法でお申込みください。  
電話での申込みは受け付けておりません。（裏面参照）

募集期間

6月27日(木)～7月25日(木)（ハガキの場合は必着）

無料シャトルバスを運行します  
（事前申し込み不要）

JR新山口駅～四辻駅～セミナーパーク

新山口駅(新幹線口)



12:30

15:55

四辻駅

12:50

15:40

セミナーパーク



12:55

15:30



令和元年 6月12日

各県自然観察指導員連絡会さま

島根県自然観察指導員連絡協議会

拝啓 木々の緑が鮮やかになり梅雨時らしい白い花が目立つ季節となりました。

貴会におかれましてはますますご隆盛のこととお喜び申し上げます。

さて、今年自然観察指導員中国地区交流会について下記の通りご案内申し上げます。

また、例年のことながら、各県からの参加者につきましては、それぞれの連絡会でとりまとめて、締め切り日までに参加者名簿をお送りいただきますようお願いいたします。

今年は、この交流会がはじめて開催された三瓶山で開催を予定しております。多くの方のご参加をお待ちしております。

### 記

1. 開催日 令和元年 10月26日(土)～ 27日(日)
2. 場所 島根県大田市三瓶町 【観察場所】三瓶山北斜面・北の原  
【宿泊】国立三瓶青少年交流の家

### 3. 内容の概要

- ① 全国植樹祭(令和2年開催)を知ろう 場所：北の原
- ② 指導員40周年 NACS-J コラボ企画 場所：室内
- ③ 恒例 交流会
- ④ 三瓶山を歩く  
(A)男三瓶山自然観察登山(姫逃コース往復)  
(B)北の原自然林トレッキング(中国自然歩道)

※雨天時：サヒメル見学等(入館料は別途集めます)

### 4. 日程(予定)

10月26日(土)

- 12:00 受付開始 国立三瓶青少年の家 ロビー
- 12:30 開会式 " 交流の家：研修室
- 13:00 ①植樹祭を学ぶ (室内+北の原)
- 15:30 ②指導員40周年コラボ企画(室内：NACS-J企画進行)
- 17:30 入浴・休憩 ※17:00からの夕べの集いはスタッフが参加
- 18:30 懇親会
- 20:00 オプション天体観察会(自由参加：サヒメル天文台：入館料300円要)

10月27日(日)

- 6:30 朝のつどい
- 7:00 清掃

7:30 朝食

8:45 退所点検 (Bコース選択者が代表で実施)

8:30 出発 (A)登山:男三瓶(参考登り:2.5時間):終了13:30

9:15 (B)トレッキング:北の原自然林+自然歩道:終了13:30

※昼食(交流の家食堂の弁当)

13:00 閉会式:三瓶交流の家 解散(13:45予定)

6. 定員 各連絡会 10名程度(調整により若干の増減は可能)

7. 締め切り 令和元年 9月1日(日) ※メールか電話で申し込んでください

大田和彦 tel090-1189-8769 ota.red@kvision.ne.jp

8. 参加名簿必要事項 氏名・性別・住所(市町村まででOKです)・電話番号

9. 参加費 7,000円(1泊3食。2日目の昼食はお弁当です)

+懇親会飲物代(飲酒の人1,000円、ソフトドリンクの人500円)

10. 持ち物 参加費・着替え・ねまき・タオル・洗面用具・入浴グッズ(シャンプー石鹸の備え付けはありません)・入浴後にスリッパがあると快適です。

マイカップ・懇親会2次会を盛り上げる各地の美味しいもの。

自然観察に必要なもの(指導員の腕章と名札、雨具をお忘れ無く)

\*男三瓶登山(標高1,126m)を希望される方は、しっかりと登山準備をお願いします。天候によっては防寒着が必要です。

11. その他 今回の交流会は、日本自然保護協会自然観察指導員に登録している方を対象としています。そのため、指導員登録の傷害/賠償責任保険に加入されていることを前提としています。指導員登録を忘れている方は、再加入をお勧めします。(今年度分のみで支払いで復活可能です)

また、指導員登録をしていない方は、自己責任で国内旅行保険等の傷害保険等にご加入のうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。

12. 主催 島根県自然観察指導員連絡協議会

開催事務局窓口

島根県自然観察指導員連絡協議会事務局

島根県立三瓶自然館内 TEL0854-86-0500

事務局 星野(hoshino@nature-sanbe.jp)



## 笠山について

山口県自然観察指導員 中本幸男

まず、はじめに「萩ジオパーク」は、30年9月、申請2度目に、日本ジオパークの一つに認定されました(萩市ジオパーク推進課)。このジオパークというのは、「大地・地球(Geo)」と「公園(Park)」とを組み合わせたことばで、「大地の公園」を意味し、地球を学び、楽しみ、地域資源の自然環境、産業、文化などの利活用を図る場所をいいます。

萩ジオパークは、また萩市笠山、須佐ホルンフェルス、阿武町の台地等や山口市阿東の長門峡など広く含まれ、阿武火山群の様々な地形、地質をも特徴としています。これらの地域資源のより一層の活性化が構想され、期待されています。

### 1, 笠山 (Mt.Kasayama)

笠山は、北長門海岸国定公園の中心部に位置し、高さ112mで、頂上に口径30m、深さ30mの小さな噴火口跡があります。海上60m付近までが、数万年前の噴火活動でつくられた溶岩台地で、その上に、約1万年前の噴火で、釣り鐘状スコリア丘の単性火山がつけられました。スコリア丘とは、玄武岩質の黒っぽい色をした軽石の積もったものをいいます。山の周囲には、溶岩のすき間から海水や風が出入りする池や穴(風穴)が多く存在し、暖・寒地性の植物の混合も見られます。風穴は冷たい季節のときの空気が取り込まれ、夏にそれが吹き出すことから涼しいところとなります。また、海岸付近麓にはコウライタチバナの自生地(国指定天然記念物)もあり、貴重なものです。なお、笠山という名は、遠くから眺めた姿が女性のかぶっていた市女笠に似ていることから、こう呼ばれるようになったものです。

### 2, 明神池 (MyojinIke Pond)

山の麓には、明神池(天然記念物)といわれる、海底で相つながる大池、小池、及び奥の小池よりなり、水面11.24m<sup>2</sup>の天然の塩水池で、池水は外海の干満に応じて、主に岩のすき間を通じて出入りしており、水深は一定しないが、比重は海水に比してやや低い。深いところは4mで池の中では、マダイ、クロダイ、メジナ、ボラ、アカエイ、コノシロ、スズキ、フグ、アコウ、ウナギなどの磯付き魚がいる。クロダイ、メジナ、ボラ、コノシロなどは池の中で盛んにふ化します。池の中の魚類は各々同種をもって集団をつくり、廻遊する様は外海の自然と異ならず、全く天然の水族館といえます。

### 3, 阿武火山群 (Abu Volcano)

山口県萩市などにある、独立性火山群のことです。2003年気象庁の活火山見直しにより、休火山から活火山とされました。山口県の北西部の萩市、阿武町、山口市に分布する50余りの火山体で構成されています。阿武火山群の活

動は、約200万年前～150万年前の前期と約80万年前の以降の後期に区分されます、前期の活動は、溶岩台地を形成したアルカリ玄武岩の活動で、後期はアルカリ玄武岩の溶岩台地と川を流れ下った溶岩流とがスコリア丘を形成しました。約40万年前から始まったカルクアルカリ安山岩ーデイサイトーの活動は、溶岩台地（溶岩平頂上）を形成しました。構成岩石のSiO<sub>2</sub>量は、47.0～61.6wt%である。400km<sup>2</sup>に約50あまりの火山台地が点在しています。

## 1, アジア大陸と日本列島

(日本列島の成り立ちと日本海、海岸、島嶼、地形、火山のためここで簡単に触れておく必要があります)

萩の大地の土台は、アジア大陸の東縁で起こった1億年前の激しい火山の噴火によって作られています。その大陸が分裂・移動して現在の日本列島と海水による日本海の元が出来たものです。約1200万年前の割れ目噴火は溶岩台地をつくり、その一部はいまの萩市沖にある離島の見島になっています。

約200万年前～1万年前には、たくさんの小さな火山が噴出し、活火山・阿武火山群が出来ました。萩市近辺の日本海に点在する平らな6島（大島、櫃島、肥島、羽島、尾島、相島）もその時のものです。分裂によりうすく引き伸ばされた地殻の下では、上昇してきたマントルが融けて、玄武岩マグマが出来ました。このマグマは地殻を破って、割れ目噴火を起こしました。空中に高く噴き上げられたマグマの破片は、火山群やスコリアとなって、地表に降り注ぎ、さらに溶岩を流しました。その後、ストロンボリ式噴火や水蒸気マグマ噴火が起こり、最後は大量の溶岩を流し、玄武岩の溶岩台地をつくりました。

## 2, 笠山の草花



カタバミ



トキワツユクサ



ノコンギク



### 第3支部 活動報告

森の小動物「ヤマネ」観察会 令和元年5月26日(日) 周南市五万堂溪谷  
本支部単独で実施する今年度最初の活動。日頃目にする機会のない森のほ乳小動物の観察会を行いました。県立博物館の田中浩先生が、日常的に調査・観察のフィールドにしておられる周南市長野山の五万堂溪谷を訪れました。約140個ほど設置した巣箱で営巣や繁殖の行動を観察している現場を見学し、説明を受けました。杉や桧の樹皮や洞での生活痕も見ることができました。夜行性であるため、実際の姿や行動は観察できませんでしたが、ヤマネと同じ環境に生息するヒメネズミの営巣や生活痕も観察することができました。田中先生の説明では、県内に自然分布する小形哺乳類は、トガリネズミ類やモグラ類が含まれるトガリネズミ形目の5種、コウモリ類が含まれる翼手目の10種、ネズミ類、リス類、ヤマネ類が含まれる齧歯目の12種がいるそうです。日頃、滅多に観察することができないヤマネ類の観察会でした。当日は、14人の参加者がありました。



(巣箱にやってきたヤマネ：田中先生撮影)



(熱心に観察する参加者)

かたつむり観察会 令和元年6月16日(日) 岩国市吉香公園・城山一帯  
梅雨とは言うものの雨の少ない時期でしたが、季節の生き物・かたつむり(陸貝)の観察会を本部と共催で開催しました。観察場所は県東部・岩国市の吉香公園と城山。この場所では、山口県出身の河本卓介さんが城山で発見されたカワモトギセルと、県内で最大の殻の大きさ(約5cm強)を誇るイズモマイマイ、そして最近新種として記載された「長州」の名前をもつチョウシュウシロマイマイが観察できます。当日は前日雨天で絶好の観察日和でした。参加者全員が目を皿にして、地面や木の上を見ながら、和気藹々あいあい楽しい観察会でした。指導者(増野)の説明を聞きながら、最近目にしなくなった、身近な生きものに接する機会となりました。カワモトギセルは観察できませんでしたが、全部で9種類を観察できました。当日の参加者6人。



(樹幹で活動するチョウシュウシロマイマイ)



(興味津々に観察する参加者)



### 第3支部 今後の活動計画 参加者募集

きのこの観察会 令和元年8月18日(日)(雨天:25日延期) 秋吉台家族旅行村

「きのこは秋の物」と考えていたのは、私だけでしょうか。実は夏の時期が、種類も量も多いそうです。きのこと言えば、食材、自然界の分解者として知っているだけですが、深いきのこの魅力にとりつかれて、長年にわたって県内を中心に、きのこを調べ、その生態写真を撮影してこられた川口泰史さんに、秋吉台で観察できるきのこを案内していただきます。また、秋吉台エコ・ミュージアムで開催中の写真展を見ながら解説を聴きます。下記の日程で開催します。

事前に、増野(090-8997-3368、kmashino@js4.so-net.ne.jp)までお申込ください。

- 集合時間:9:30 家族旅行村駐車場
- 日程:観察会 9:40~11:40
- 昼食・移動 11:40~13:00
- 写真展解説 13:00~14:00
- 解散 (秋吉台エコ・ミュージアム)



(アカシメヒメチタケ 川口さんHPより)

体験研修・観察会「森林のはたらき」 令和元年10月5日(土)

(京都大学フィールド科学教育センター徳山試験地)

森林のはたらきと私たちの生活との関わりについて、体験実習や講義を通して学ぶ大学と施設のある周南市が連携して開催する公開講座への参加を企画しました。昨年までの実施内容をみると、自然や環境の変化を体験し、森・里・海の連環を学べる機会となっています。「森と川と海を移動する物質」、「森の変化がもたらす川の変化」、「河川魚類からみた森と川のつながり」など、観察指導員にとっても有益な充実した内容となっています。現時点では公開募集は始まっていませんが、定員がわずかであり事前に指導員枠(5名:大学担当者より事前認可)を確保するために募集をします。参加を希望される方は、期日(8月30日まで)までに、増野(090-8997-3368、kmashino@js4.so-net.ne.jp)まで連絡ください。支部として申込をします。

なお、昨年度までの詳細は、下記ホームページをご覧ください。

HP (<http://www.city.shuunan.lg.jp/soshiki/42/17305.html>)

- 場所:徳山試験地(周南市徳山鉢窪)   ○対象・定員:中学生以上、25名
- 参加料:無料



# ！ スタッフ募集中 ！

## 第1支部関係行事

### セミの抜け殻調査

1～2名

7月21日（日）：午前9時00分～

場所：岩国市吉香公園

問合せ等：河原 一輝 TEL090-5264-7231

## 山口県関係

### 第40回

### 山口県緑の少年隊等交歓大会

1～2名

8月8日（木）：午前9時30分～

場所：国立山口徳地青少年自然の家





第2支部行事

第17回「楽しく見て、しっかり知ろう 切戸川の自然」

- 1 目的 切戸川の自然観察体験を通じて、自然と人間との関わり方に気付き、環境の現状を体験する。また、「環境学習」「自然との楽しいふれあい」を重視し、青少年の健全育成をめざす。
  - 2 主催 いいまちつくろう創星倶楽部 後援 下松市教育委員会  
協力 山口県自然観察指導員協議会 Kビジョン株式会社・あかい坊
  - 3 日時 令和元年7月21日(日) 8:30~
  - 4 集合場所 久保小学校
  - 5 実施場所 切戸川 久保小学校付近~
  - 6 服装、持ち物 帽子・川に入れる服装・くつ・手網・水筒・筆記用具
  - 7 問合せ先 大田和彦 TEL 0833-46-0103  
090-1189-8769
- ※ 雨天の場合中止



# 奥穂高岳・涸沢岳・上高地の自然と植物（最終編）

第6支部（北浦自然観察会） 永井要明



ソバナかな（下）。徳沢が近くなると前穂高岳をはっきりと見えてくる（下）。

次は全く不明（右）。

横尾から徳沢までの道の両側にはホソイノデがやたらとある（下左）。梓川の川辺なので湿気が多いからだろう。ホソ



イノデは長野県でも標高 1500m から 1600m の所に多いようだ。それが萩市の笠山にもあるのだから、笠山の風穴は貴重である。おそらく東北地方でも標高 500m 以上の川の近くの湿気の多いところにあると思われる。葉の付け根をよく見ると鱗片が見える（右）。ズダヤクシュが実になっている。

ズダヤクシュは信州地方では喘息のことで喘息に効く薬草ということでこの名前がついたそうだと（下左）。徳沢を過ぎると次のような





景色が見られる。(上中)。クサボタンがこの時期でも咲いている。よほど涼しいからだろう。アザミには違いないが名が分からない(左)。

次はヤチダモである  
小葉の付け根が赤いのは茶褐色の縮れ毛があるからである。山地の湿地に生える(上中)。



穂高神社奥宮の手前の川の縁でエンコウカエデを見た(上右)

次の木はシラビソだと私は思ったが違うだろうか。ハクサントリカブトだろうか。日当たりが悪いので白っぽい(右)。

同行していた仲間が大きな松の実を見つけた。(下左) 長さが10cm以上有る。後で調べたら、チョウセンゴヨウのようだ。



(下右) 本州中部地方と四国の東赤石山にあると平凡社の「日本の野生植物 木本I」には書かれている。



そういえば東赤石山で五葉の松を見たことがある。ハイマツにしては比較的  
真すぐに立ち上がっていて、変だなと思っていたが、あれがチョウセンゴヨウだったのだなと今になって思いだした。  
葉も落ちていて右上の写真のようなものである。

以上で奥穂高岳・潤沢岳・上高地の自然と植物は終わりである。それにしても随分いろいろな植物があり、花の百名山には載っていないのが不思議なくらいである。分からない植物も20以上有った。だれか「穂高岳周辺の植物」というような本を書けばまず2万部は売れると思う。なぜなら、奥穂高岳・西穂高岳・前穂高岳・潤沢岳に登る人は年間10万人以上いるはずで、特に植物に興味が無くても、自分が撮った写真の植物の名前を知りたい人もいるだろうし、目に留まって気になった植物の名前を知りたい人もいるだろうから、山小屋などに「穂高岳周辺の植物」という本が売られていれば買う人も沢山いると思うからである。奥穂高岳や潤沢岳は山の好きな人なら必ずと言っていいほど登る山で、登山者は富士山に次いで多い。山も植物も素晴らしいの一言に尽きる。

第5支部活動報告・活動計画

植田 高弘

1 蓋井島竹伐り活動

今秋から12年目に入ります。3月に予定していた事前調査は、都合により、中止となりましたが、4・5月は天気にも恵まれて実施することが出来ました。

4月6日(土)6名(大田・黒田・脇田・原谷・松崎・植田)

5月12日(日)4名(原谷・松崎・松田・植田)

群落周辺、作業道などは、かなり整備や修復が進んできたように思います。しかし、将来的な課題も多くあり、各方面の方のご意見を聴いて対応したいと考えています。

課題としては、① 植生調査の進め方。

② 新たな作業参加者の確保。

③ 地元や他団体と、どう連携していくか。などが挙げられます。

2 つのしま自然館：関連行事

自然館では、5月11日(土)、春の野草観察会(18名参加)、6月1日(土)に海辺の教室観察会(29名参加)を開催しました。海辺の教室は夏休みから初夏に季節を移しての開催でしたが、参加者は若干減少しました。今後の予定については、下記の通りです。

つのしま自然館：関連行事

(1) 8月17日(土) 角島子ども探検隊 ～親子で昆虫採集～

つのしま自然館周辺の昆虫を観察します。また、クワガタムシの飼育方法も学ぶ予定です。

(2) 蓋井島調査・整備活動

現在のところ、10・11月で、各月1回を予定しています。

詳細につきましては、104号(秋号)で、お知らせします。



野草観察会：5月11日(土)



海辺の観察会：6月1日(土)



第6支部（北浦自然観察会）2019年6月～10月までの行事の詳細

永井要明

- 6月9日（日）萩市田床山のイシモチソウ、ササユリなど  
9：00 萩中央公園出発 自家用車乗り合わせ  
参加費 500円
- 6月29日（土）、30日（日）一泊二日（筋湯温泉 たからや旅館に宿泊）  
大分県涌蓋山（1399、5m）、  
吉部のワタナベソウ、タマガワホトトギスなど  
6：00 萩中央公園集合、6：25 絵堂インター バス定員あり  
参加費 18,000円
- 7月7日（日）萩市須佐ヒメユリ・キキョウ(学術調査)  
15：00 須佐駅前集合、自家用車乗り合わせ  
参加費 500円
- 8月18日（日）萩市吉部の大将陣、三戸原のサギソウ湿地  
8：00 萩中央公園集合 自家用車乗り合わせ 参加費 700円
- 9月22日(日) 広島県雲月山<sup>うづやま</sup> ウメバチソウ・マツムシソウ・リンドウ等  
7：00 萩中央公園集合 7：50 田万川道の駅  
バス 定員有り 参加費 4000円
- 10月20日(日) 北浦自然観察会総会(第6支部会)  
10：00 喫茶店ミラノ
- 10月26日(土)、27日(日) 中国5県自然観察指導員交流会 三瓶山(島根県担当)  
集合時間などは参加者に後日知らせる。

## 令和元年度第3回役員会議事録

### 開催日時・場所

日 時 令和元年6月2日(日) 10:00~11:00

場 所 下松中央公民館(ほしらんどくだまつ) 交流室3

・出席 7名(藏田、植田、永井、松原、脇田、増野、大田)

### 議 事

#### 1 会の愛称について

・「自然観察やまぐち」か「山口自然観察会」のどちらかに次期総会で決定。

#### 2 令和2年度定時総会について

・令和元年11月24日(日) 10:00~14:30

・秋吉台エコ・ミュージアム

10:00~10:30 総会

10:30~11:30 講演 新種「アブサンショウウオ」と県内のカスミサンショウウオ(萩博物館 川原学芸員)

11:30~13:00 昼食・移動

13:00~14:30 植物観察会 新種「アキヨシミミナグサ」と銅山跡に生育する植物(植物写真家 中澤妙子さん)

#### 3 「みどりの風」7月号(103号)

・原稿締め切り 6月15日 ・各支部の予定や報告を

#### その他(諸連絡)

・中国五県指導員交流会(10/26~10/27 三瓶山)詳細は7月号

参加予定 永井、脇田、植田、大田

・「やまぐちのキレイな海岸フォトコンテスト」9月6日締切

### ＜ 編集後記 ＞

令和に変わって2か月がたちました。また、今年は、山口県を含む九州北部地方の梅雨入りが記録的に遅れました。さらに、梅雨前線が活発化しており全国的にも災害の発生が懸念されています。また、6月は地震も所々で発生していますので、災害への備えがなお一層重要になってくるものと思われます。

令和初の定時総会は、第3支部が担当です。

万障お繰り合わせのうえ、ぜひご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

お体に十分気をつけてください。(U)

山口県自然観察指導員協議会会誌  
<みどりの風>

■発行 山口県自然観察指導員協議会  
会長 大田和彦  
〒744-0043 下松市東陽2-2-5  
Tel(Fax)0833-46-0103

■機関誌編集長 植田高弘  
〒759-6603 下関市安岡町8-14-21  
Tel(Fax)083-258-2706